

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)10月5日 No. 1138

## 目次

「第22回日ロ経済専門家会議」代表団報告会.....	1
経済統計.....	10
C I S 諸国通貨の最新為替レート.....	14

## 「第22回日ロ経済専門家会議」代表団報告会

はじめに 本年で第22回を迎えた当会主催日ロ経済専門家会議は、8月31日～9月16日にかけて代表団をモスクワ、ウクライナ(キエフ、オデッサ)、ブルガリア(ソフィア)、クロアチア(ザグレブ)に派遣した。本号では9月24日に東京証券会館にて開催された、金森久雄団長(ロシア東欧貿易会顧問・日本経済研究センター顧問)、小川和男副団長(当会ロシア東欧経済研究所所長)による帰国報告会の内容を紹介する。

### 1. ロシア経済の実力

金森久雄  
(社)ロシア東欧貿易会顧問  
(社)日本経済研究センター顧問

楽観的な見方が支配 1999年8月31日～9月5日までモスクワを訪問した。訪問の際の主な関心事は、過去1年間にロシアがどのように変わったかを調べることであった。

われわれ日ロ経済専門家会議はちょうど1年前にモスクワを訪ねた。この時はルーブル危機の最中で、ロシア経済は混迷を極めていた。ルーブルは毎日下落した。銀行制度は機能しなかった。生産は急落した。ロシア人は前途の見極めがつかず右往左往して、暗澹たる気分が支配していた。その後1年間でロシアはどうなったのか。

経済危機以後の動きについて、当時3つの予測があった。第1は改革派の見方で、経済は低下を続けるというものであった。第2は1999年前半は低下、後半は上昇というもので、これは経済省の意見であった。1998年前半はまだ高かったから、1999年はそれに比して下降、下期は1998年後半が下がっているから、それと比べて回復というものである。第3はロシア